

# 広島フラッグセレモニーにご参加の皆様へ

私は奈良県にありますが、紫雲山極楽寺という、真言宗のお寺の住職をさせていただいております、田中全義と申します。

皆様方は、過去の戦争で亡くなられたみ魂の平安と、未来の世界平和の為、世界中の国旗を掲げて祈るセレモニーも毎年行なっていると思います。本年も8月のお暑い中、世界平和発信活動をなされる皆様のお姿をインターネットを通じて拝見し、心より感謝申し上げる次第です。

私も数年前、皆さまの行事に参加させていただきました。そのきっかけは、私のお寺にある一体の大仏様であります。

戦前、現在の原爆ドームのすぐ横に西蓮寺というお寺がありましたが、原爆でお寺はお堂ごと消えてしまいました。戦後、原爆ドームの横の元の場所に西蓮寺が再建されました。その境内に一体の大仏様がやってきました。この仏様は大仏殿に安置され、原爆から逃れた人たちの心の拠り所となり、亡くなられた家族への祈りを受けとめてくださる仏様となりました。その大仏様は広島大仏と呼ばれ、当時は大勢の人たちがご参拝なされ、平和のシンボルとなっていたようです。町の復興イベントとして、大仏様を牛車に乗せ、現在の本通商店街をパレードし、とても賑わっていたようです。

しかし、現在の平和記念公園建設の為、西蓮寺の移転が決まり、広島大仏は他のお寺へと移動することになりました。しかし、その後も安座する場所が決まらず、広島大仏はご縁のある色々な所へと旅を続け、そしてとうとう、どこに行ってしまったのか判らなくなりました。

それから半世紀という長い時間が経過したとき、奇跡的なご縁で、広島から遠く離れた奈良県の当寺で祀られている仏様が広島大仏だと判明しました。そのことが明らかになって以来、当寺では毎年8月6日に広島大仏平和祈念式典を開催しております。

戦争体験者が年々減少し、平和への決意を引受ける世代が変わりゆく時代だからこそ、再び大切な事を伝える為、半世紀という時を経て、広島大仏様が再び世にお姿を現してくださったのだと私は思います。

数年前、広島大仏様の足跡をしのびつつ広島の平和記念公園を歩いていたときに、偶然にも一人のお方がお声をかけてくださり、皆さまの行事に参加することになりました。そのお一人との出会いが、今日世界中でお祈りをなされている方々へとつなげてくれました。私もその大きな希望の輪の一員となり、未来の若き命へ平和のバトンを渡していきたいと思っております。

文章ではすべてお伝えしきれませんが、平和を聞く心、考える心、そして行動する心を大切に、まだまだ未熟ではございますが、精進したいと思っております。

世界中の皆様が幸福であります事、心からご祈念させていただきます。

合掌

真言宗国分寺派 紫雲山 極楽寺 住職 田中全義